

特42

456

訂正
觀世流謡別能二十八番

心

舟

074943-001-3

特42-456

觀世流謡別能二十八番

觀世 清廉/訂

M26

CEL-0453



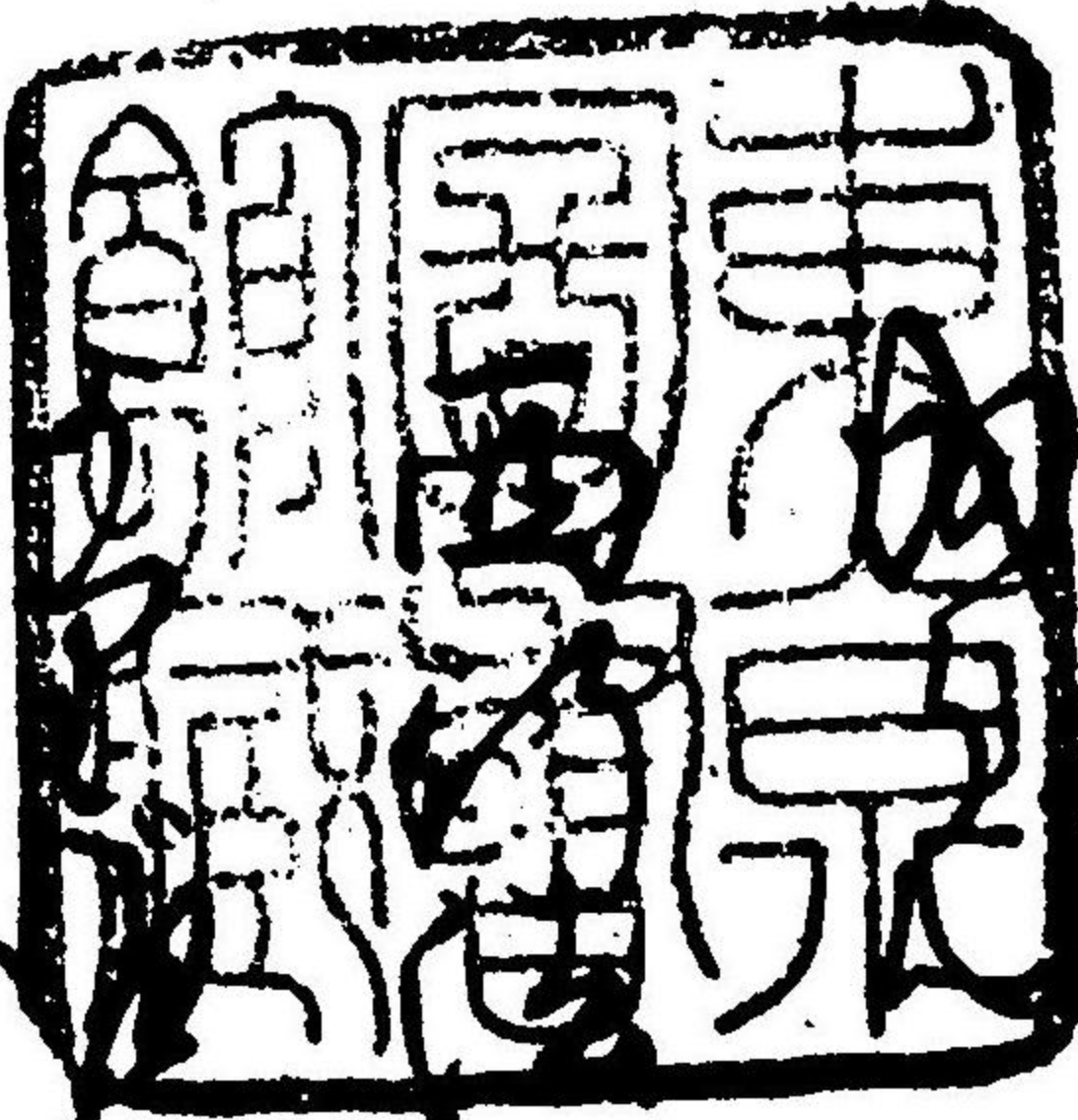
雨月

第... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

とておとそよ雲吹くぐらむ

是ら暖秋の奥より宿す

所作し我宿おのこ細あら



と信吉の印はよき宗跡は

と信ちるやの野乃奥より出く

西よりあめ秋の月とく



人々へおのれをばせしむる

あはれみよき御心にて

世に捨てし御心にて

世に捨てし御心にて

世に捨てし御心にて

世に捨てし御心にて

世に捨てし御心にて

よき御心にて
給ふ御心にて
梅の雨日

あはれみよき御心にて

あはれみよき御心にて

あはれみよき御心にて

あはれみよき御心にて

あはれみよき御心にて

あはれみよき御心にて

才の住居さも 賤う行場とて

ぞうづら賤うの心ささき葺きとて

面白也則寺の下の白あつて

乃白とつらき心ささき宿さつし申

海半世女夜神も新寺の心ささき

さあしり出る月漏れささきたまわら

子角に賤う行場とて心ささき

上二八

月漏雨ささき心ささきくよ賤う行

端と葺きさつらぬ 面白くとも

心ささき心ささき心ささき心ささき

思の雨ささき心ささき心ささき

心ささき心ささき心ささき心ささき

三五あるの新月の二千里表外さ

心ささき心ささき秋の心ささき心ささき

あつて秋のさきよの夜月
てらにふよよ美雨さあき時
るもお木の葉の雨のさきよの
涙もさあきよのさあきよの
まよき夜の秋のさきよの
月さきよのさあきよの
さあきよのさあきよの

の葉さあきよの集の雨のさきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの
さあきよのさあきよの

そらうささかたしくみ所とくみ所と
入垂水ありと下へ則天地入れにきき
是縁分さくく我そのけかき
思ひがさくもめくも西へ海あり
うさくの取回らりあけり出
まきり神境まきり
かきり神の周位とまきり

おまじり入都率の川院かて高貴
徳王善菩薩の号し今へ又玉垣の
ちの國よ跡とて和寺と守りて
まきのえや松林乃まきり
まきり月像と愛さ家よ我寺の入稀
まきり我よ西行法師并まきり
まきりまきりまきり

切初受^カま^カら^カぬ^カ心^カに^カく^カる^カ神^カ志^カ
乃^カほ^カと^カま^カし^カめ^カし^カと^カ宜^カ然^カう^カ頭^カよ^カり
う^カの^カ謹^カ上^カ 再^カ拜^カ 幸^カあ^カり^カか^カり^カ乃
敷^カ向^カや^カく^カま^カし^カ心^カを^カま^カり^カ乃^カ考^カら^カ
何^カも^カも^カも^カお^カ内^カを^カ飄^カく^カ乃^カ鈴^カ乃^カ色^カで^カの
ま^カの^カ報^カれ^カと^カい^カふ^カの^カ極^カ吟^カ舞^カ者^カ
汝^カも^カい^カふ^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カ

そ^カの^カ風^カひ^カら^カぬ^カ心^カに^カく^カる^カ神^カ志^カ
今^カま^カも^カも^カも^カの^カ神^カ志^カを^カい^カふ^カら^カん^カど^カ
乃^カと^カい^カふ^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カ
き^カれ^カは^カら^カぬ^カ心^カに^カく^カる^カ神^カ志^カ
舞^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カい^カふ^カら^カん^カど^カ

右之本者觀世大夫織部以章句
真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都三條通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷

明治廿六年二月同日訂正出版

明治廿六年三月廿九日別製本御届

東京市麹町區飯田町四丁目壹番地
宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

發行所 京都市上京區三條通御幸町
檜常之助

